

社 殿



第 18 号
 発行
 天津地域振興協議会
 総務企画部編集委員会
 印刷
 米子ワークホーム

南部町境内にある宇賀神社は、古来下三ヶ村（境、大袋、下安曇）の産土社として鎮座しています。現在は、谷川の福田正八幡宮の末社で創立年代は不詳です。明治までは、弁財天社とよばれていましたが、神仏分離が図られたために、宇迦之御霊神の名前をとって宇賀神社と命名されました。祭神は、市寸嶋姫命（弁財天）の他六神を祀っています。今から二百五十年前までは、清水川田んぼ一帯が沼地で、法勝寺川流域は海であり、川船が往来していたことから、この地に海洋族である安曇族が定住した際、海運と交易の神である弁財天を氏神として社に祀ったと思われます。古くから、宇賀神社には鎮座祭や大漁祈願などたくさんさんの参拝者があったそうです。昭和三十年頃までは、総氏子数も百三十戸あり、お祭りの際に露



ねじり灯籠

天商が軒を連ねていましたが、度重なる道路工事により、境内の参道や石段などは当時の半分近くの広さになり、当時の面影も今はなくなりました。現在の社殿は、安政年間の再建で、本殿は二手先の手法を取り、立派な細工と彫刻がなされていて、中でも籠掘りは必見です。また、一般にはあまり知られていませんが、拝殿内には大型絵馬があり、古いものは江戸時代のものであるということで、鳥取県の博物館の関係者が借りに来られるほど有名です。現在は、道路脇に鳥居が建ち、珍しい形のねじり灯籠を先頭に常夜灯や狛犬が場所を競うように並んでいます。また、一面に工事のために移転された幸の神が新しく祀られているのが印象的です。（佐伯 明日香）



大型絵馬



籠掘り

あまつのお店紹介
Hair Salon TOMO



谷川坂の中ほどにヘアサロン
トモがあります。

平成十六年四月に開業され、も
とは天津郵便局があったこの場所
に、平成二十二年五月に柏尾から
移転され営業しています。

入り口のドアを開けると、コー
ヒーの香りが迎えてくれます。待
合の間に世間話やいろいろな情報
交換の場であった散髪屋さんも、
今では予約して来られるお客さん
が多くなり、待っている時間も少
なく、おのずと会話は散髪中の話
題になるそうです。

窓は明るく、差し込む日差しに
往来する自動車の音も子守唄かわ
りに聞こえ、思わず心地よい眠り
に入ってしまうます。

店名のトモは、店長さんの森本
智之さんの一字を取って付けられ
たそうです。明るくお話し上手。
もちろん腕も上手な「ヘアサロ
ントモ」でコーヒーを飲みながら
ゆとりの時間を過ごされたらいか
がでしょうか。

(大塚 賢一)

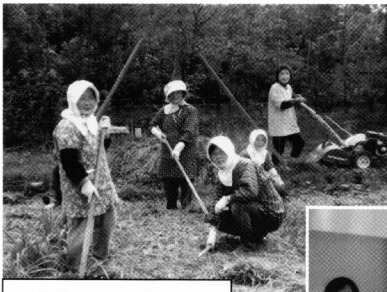
〈営業案内〉
営業日 一月五日〜十二月三十一日
営業時間 午前八時三〇分〜
午後十九時三十分まで
定休日 毎週月曜日
☎ 0859-66-5963
(ロクロクのゴクローサン)

「ゆうらく」との交流
天津百寿会女性部に
感謝状



記念式典

バナナをお土産に交流



雑草を征伐、
見事な野菜畑に

平成二十四年十月一日、「ゆう
らく」にて社会福祉法人伯耆の国
創立十周年の記念式典が和やかに
行われ多くの人が列席し、席上で
天津百寿会女性部も団体として感
謝状を頂戴しました。

わが女性部は、「ゆうらく」の
慰問ボランティアを諸先輩から受
け継ぎ力を入れてきました。合唱
の披露、お話し会、手作りの飾り
物プレゼント、そして毎年恒例の
お土産(バナナ)持参など、大変
喜ばれています。

また、六年前からは「ゆうらく」
の側にある荒れた畑を開墾し、春・
秋の季節の野菜作りをしています。
この新鮮な収穫が「ゆうらく」の
食卓に上がります。

この度の表彰を皆さまと共に喜
びたいと思います。これを励みに
引き続き慰問の交流をし、また野
菜づくりにもがんばります。

皆さまのご協力をよろしくお願
いいたします。

(植田 共栄)

地域の行事

上阿賀の申し上げ

発祥は不詳ですが、収穫感謝を申し上げる農耕儀礼で、水を掌る水神に収穫を感謝して、『大蛇』をつくり奉納します。

蛇は水神のつかいと言われ、稲作に必要な水の調節を支配することに起因するようです。

祭日は毎年十二月五日で、上阿賀集落内の農家を中心とし、その中の七戸が毎年の廻り当番として申し上げの準備をします。

当日は、各自が女竹を長さ一尺三寸に切りこれを約二十本公民館に持参し、神官さんに御幣を切ってもらいこれを挟んで幣串を作成します。幣串は十二本一束とし(二年は十二ヶ月で十二本、閏年は十三本)神社に納め、残りは自



公民館から荒神社まで大蛇を担いでねり歩く

宅の井戸・田の水口・洗場等を祭場として祀ります。

その後、直会の宴が催されます。当番が用意した甘酒などがふるまわれた後、料理をいただきます。以前は頭屋の家が直会の場とされていましたが、今は公民館で行われています。

その後、当番が大蛇を担いで荒神社までねり歩き、荒神社に生育している玉垣内の巨大なスタジイに事前に新藁で作成した大きな蛇体を巻きます。神事として「湯だき」と言って湯を沸し、神官さんによってこの湯で祓い清めて神木に巻き、参詣の方々も清められます。(渡邊 悦朗)



あの人この人

マスターズ甲子園出場

川上 晃 平さん(上阿賀)



マスターズ甲子園とは、全国の高校野球のOB・OGが、性別、世代、甲子園出場・非出場、元プロ・アマチュア等のキャリアの壁を超えて出身校別に同窓会チームを結成し、全員共通の憧れであり野球の原点でもあった『甲子園球場』で白球を追いかける夢の舞台を目指そうとするものです。全国各地での野球チームの始動と生涯スポーツとしての野球文化の発展、さらには活力ある熟年(マスターズ)文化に寄与していくことを目指して二〇〇四年に創設され、今年で九回目の大会になります。鳥取県は、今年が初めての参加

で、十チームによるトーナメントの結果、境高校OBが見事に優勝。

全国各地で、約三百二十チームが参加した予選を勝ち残った十六チームが、十月十日・十一日の二日間に渡って一試合ずつ戦い、境高校OBは、二日目の第二試合で鹿児島県代表の甲陵OBと対戦し、接戦の末からくも逃げ切り見事勝利されました。

川上さんはセカンドで出場され、大活躍されました。

『夢の時間でした。次回も出場できるような頑張ります。』とのコメントをいただきました。(渡邊 悦朗)

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
甲陵高校OB	0	0	0	3	3	0			6
境高校OB	3	4	1	1	0	0			9

祝

マスターズ甲子園出場!

境高等学校 硬式野球部OB

川上 晃平さん

(西伯小・法勝寺中出身)

天津クラブ



定例会



母塚山の草刈り

ボランティアグループ「天津クラブ」は、昭和六十一年三月に発足しました。発足以来二十八年間、法勝寺川土手の桜の管理、母塚山の清掃や植栽、ふるさと交流センターの植栽の手入れや収穫祭参加などを行っています。

三年前には、天津小学校跡地に、記念碑の建立をする実行委員会を立ち上げ、天津の皆さんの多大なご寄付を賜わり完成することができました。毎年三月には清掃作業を行っています。

現在の会員数は十六名、定例会を行い、天津地域に貢献するための話し合いをしています。

今年の新しい取り組みとして、古代山陰道の整備と「手間の刻」の探索に取り組む作業を行っています。柏尾地区の古代山陰道の峠に上がる山道を歩けるようにして、関所の跡らしい痕跡を見つけました。確認作業は今後になりますが、大きな歴史的価値のある事業になるかと期待しています。これからも、天津地域の発展に寄与できるよう頑張ります。

(野口 隆資)



記念碑の清掃



「手間の刻」の探索



史跡めぐり (相見宅)

編集後記

平成二十四年九月二十八日から二十九日にかけて『第三十回地域づくり団体全国研修交流会鳥取大会』が行われました。

県内で十一分科会に分かれ、南部町では『わーやちのことは、わーやちで』再活の町のまちづくり』をテーマに、分科会が行われました。

天津地区では、古くから地域に伝わる史跡伝統文化を次の世代に継承すべく、独自に調査、資料編纂を行っています。その取り組みを発表し、その後に史跡めぐりを行いました。

天津地区には素晴らしい史跡や行事が多くありますので、後世に残していきたいでしょう。

(渡邊 悦朗)